

○目的

地域包括ケアシステムの充実に当たり、地域包括支援センターの運営が安定的・継続的に行われるよう、本庁の定める運営方針等を踏まえた効果的・効率的な運営がなされているか等、地域包括支援センターの事業評価を実施し、その結果を活かしてより良い運営・活動に向けた取組を推進することを目的とします。

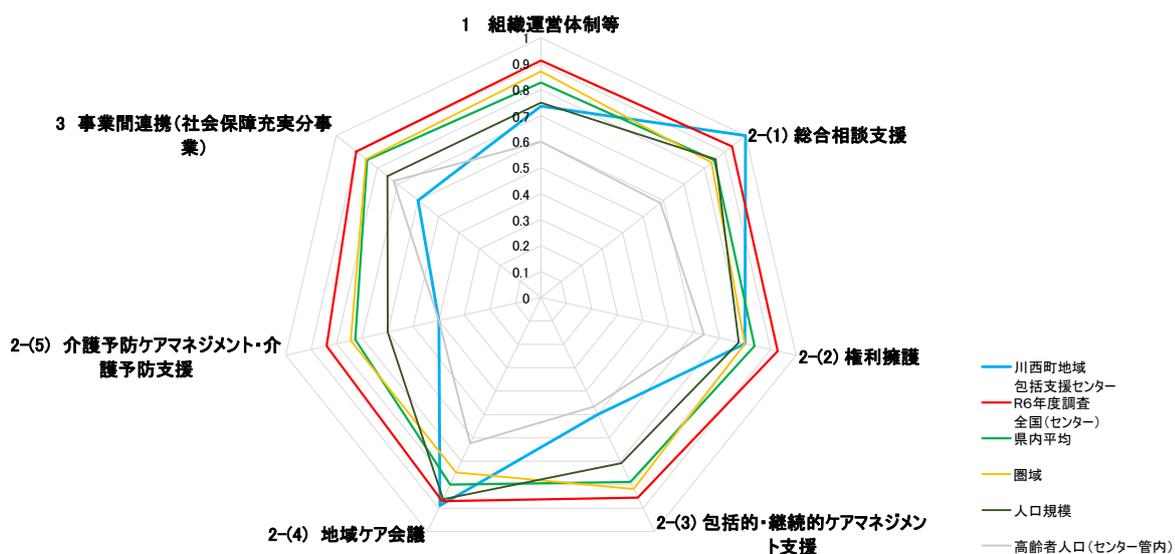
○評価指標の概要

「地域包括支援センターの事業評価を通じた機能強化について（通知）」（平成30年7月4日老振発0704第1号厚生労働省老健局振興課長通知）において示された評価指標に基づき、厚生労働省より情報提供のあった全国の状況についてチャート化されたものと比較し、川西町地域包括支援センターの業務の状況を明らかにする。

	川西町地域 包括支援センター	R6年度調査 全国 (センター)	(参考) R5年度調査 (センター)	R6県内平均	圏域	人口規模	高齢者人口 (センター管内)
					中和	3,001～ 10,000人	3,000人以下
1 1 組織運営体制等	73.7%	91.3%	90.6%	82.8%	87.1%	75.0%	60.0%
2 2-(1) 総合相談支援	100.0%	93.4%	92.7%	84.8%	83.3%	85.4%	58.3%
3 2-(2) 権利擁護	80.0%	92.8%	92.3%	83.8%	80.0%	77.5%	64.0%
4 2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	50.0%	85.5%	85.0%	78.7%	81.8%	70.8%	46.7%
5 2-(4) 地域ケア会議	88.9%	87.0%	86.2%	79.9%	74.7%	86.1%	62.2%
6 2-(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	40.0%	83.9%	84.4%	72.8%	74.5%	60.0%	40.0%
7 3 事業間連携（社会保障充実分事業）	60.0%	90.2%	89.0%	84.9%	85.5%	75.0%	72.0%

※60%以下を赤字表記

■レーダーチャート



■評価と今後の方針

○総合相談・地域ケア会議分野においては、全国と比較しても高い水準を保っている。
直営の地域包括支援センターであり、相談事例解決に向けて保険者と共有しやすい環境にあり、日頃より町の関係各課との連携も図りやすい状況にある。

○事業間連携・介護予防ケアマネジメント・介護予防支援分野においては、他と比較しても低い水準となっている。
介護予防ケアマネジメント等においては、保険者と地域包括での方針の共有は図っているものの、地域の介護支援専門員まで自立支援・重度化防止の視点が十分伝えられていないケースもあった。

→今後の川西町は、高齢者数は減少するものの後期高齢者が増加し、生産年齢人口が減少していくことが予測されている。高齢者やその家族からの多様な相談に対し、専門性を発揮できるよう3職種間や保険者及び町の関係各課との連携を強化するとともに、自立支援・重度化防止への取組や住民主体の通いの場の推進、地域包括ケア充実にに向けた取組をすすめていく。他機関との連携においては、MCS(医療介護従事者間の多職種連携を円滑にする無料の完全非公開型・医療介護専用SNS)や地域ケアプランデータ連携システムを活用していく等、効率的な事業推進に向けた体制整備につとめていく。

* R6.6.7に「地域包括支援センターの事業評価を通じた機能強化について（通知）」の一部改正があり、評価指標の見直しが行われ、令和7年度評価より活用していきます。